

2019年度 自己評価報告書

学校法人加藤学園
山形デザイン専門学校

2019年度 自己評価について

学校法人加藤学園 山形デザイン専門学校は前身の姉妹高等洋裁学校として昭和21年に発足したのを始まりに、今年に至るまで74年間、業界の発展と人材の育成を主旨とし人材育成に努めて参りました。

本校ではより良い学校運営を実施することを目指して、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にして自己評価に取り組んでおります。評価にあたっては、今後も教育の質向上にこの評価結果を活かし、時代に対応できる人材作りと業界に貢献できる学生の育成に努めて参ります。

1 対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日

2 実施方法

(1) 校内に「自己評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っております。

委員構成： 委 員 長 学園理事長

委 員 副校長、教頭、教務主任、事務局長、教務副主任

(2) 評価は、「専修学校における自己評価ガイドライン」を参考に行っています。

(3) 評価は、年一回 2月に行います。

(4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

3 自己評価の項目:自己評価は、以下の 10 項目について実施します。

(1) 教育理念・目標

(2) 学校運営

(3) 教育活動

(4) 学修成果

(5) 学生支援

(6) 教育環境

(7) 学生の受け入れ募集

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

(10) 社会貢献・地域貢献

4 評価項目に対する評価

評価は、4-1 の 4 段階で表します

段 階	4	3	2	1
評 価	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切

1. 学校の教育目標

デザイナーとしてスキルを伸ばし就職する為に必要な能力と教養を兼ね備えた人物を育成する事、また、それを通して社会貢献する事を目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

義務教育から高校時代までお膳立てされた作業をこなす事に慣れてきた生徒たちに自ら思考し動く事を覚えさせる教育を行う。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
・ 理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・ 学校における職業教育の特色を明示しているか	4
・ 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

- ① 課題：デザイナーとしてのスキルの習得と習熟率の上昇と同時に、社会に出るにあたって最低限のコミュニケーション能力の習得
- ② 今後の改善方策：在学中の個別ケア及び出身校への啓蒙
- ③ 特記事項：特になし

(2) 学校運営

評価項目	評価
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか	4
・ 人事、給与に関する制度は整備されているか	4
・ 教務・財務等の組織は整備されているか	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

- ① 課題：理事会や委員会など外部人材のスケジュールリングが困難な場合がある
- ② 今後の改善方策：webを利用した会議等の実施を検討
- ③ 特記事項：特になし

(3) 教育活動

評価項目	評価
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	4
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか	4
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 教育活動に関する外部関係者からの評価を取入れているか	4
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4

・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	4
・ 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・ 関連分野における先端的な知識・技能を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

- ① 課題：現状問題なしと考えられる
- ② 今後の改善方策：
- ③ 特記事項：

(4) 学修成果

評価項目	評価
・ 就職率の向上が図られているか	4
・ 資格取得率の向上が図られているか	4
・ 退学率の低減が図られているか	4
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- ① 課題：卒業生はよく来校し報告を受けているので大変良いと思う
- ② 今後の改善方策：
- ③ 特記事項：

(5) 学生支援

評価項目	評価
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・ 学生の健康管理を担う体制はあるか	4
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
・ 保護者と適切に連携しているか	4
・ 卒業生への支援体制はあるか	4
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・ 高校・高等専修学校などとの連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

- ① 課題：4を取れない課題についてより力を入れて進めていく
- ② 今後の改善方策：
- ③ 特記事項：

(6) 教育環境

評価項目	評価
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4

・ 防災に対する体制は整備されているか	4
---------------------	---

- ① 課題： 新校舎が落成し設備も一新し、大変良い環境で就学できている
 ② 今後の改善方策：
 ③ 特記事項：

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4

- ① 課題： 適正に行われている
 ② 今後の改善方策：
 ③ 特記事項：

(8) 財務

評価項目	評価
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
・ か	4
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

- ① 課題： これ以上学生減少が続かないよう対策を講じる必要がある
 ② 今後の改善方策：
 ③ 特記事項：

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・ か	4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
・ 自己評価結果を公表しているか	4

- ① 課題：
 ② 今後の改善方策：
 ③ 特記事項： 法令等の遵守は当然の義務であり、今後も徹底いたします

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・ 学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	4
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託を積極的に実施しているか	3

- ① 課題： 特になし
 ② 今後の改善方策：
 ③ 特記事項：